

拡大図

凡例

- 指定避難所
- 津波避難ビル
- 地域防災協力事業所
- AED



港区東築地学区

震災避難行動マップ

指定避難所

施設名称	所在地	避難場所	収容人数
① 東築地小学校	東築地町26	体育館、トワイライトスクール、多目的室	541
② 東築地コミュニティセンター	木場町9-10	第1会議室第2会議室	40
③ 東築地学区防災センター	木場町9-9	集会室1集会室2	115
④ 中部電力株新名古屋火力発電所	潮見町34	サービスビル(1階食堂、1-3会議室)	110
⑤ 名古屋市中央卸売市場南部市場	船見町1-39	共同会議室	66

地域防災協力事業所

施設名称	所在地	覚書内容
ヒラダン株	大江町12番13	段ボールの供給、フォークリフトの貸与、生活水の供給
中部電力株火力センター	大江町3	一時的な避難場所(敷地等)の提供
愛知名港花き地方卸売市場	船見町34番地の10	一時的避難所の提供、救出機材(工具、スコップ等)の提供
大同特殊鋼株 築地テクノセンター	竜宮町10番地	救助用資器材の提供(ジャッキ、パールの機材セット)、救急セットの提供(包帯、三角巾、ガーゼ、消毒液等)、資機材運搬用リヤカー(1台)の提供
株式会社トランスコーポレーション	潮見町37-75	生活物資の提供、荷役機材の提供(オペレーターを含む)
新日本ウエックス株	木場町8番158	タオル類の提供、資材運搬用車両(1台)の貸出し
株式会社東海大阪レンタル東海営業部	木場町8-34	発電機及び輸送用車両の貸出
前田バルブ工業株	船見町29-1	救助用資器材(スコップ、ハンマー、金でこ等)の貸出、飲料水、非常用食料、紙皿、紙コップ、ヘルメット等の提供、その他人道的見地から可能な範囲における支援協力
中部リサイクル株	昭和町18番地	重機(フォークリフト他)の提供
丸安運輸株	昭和町19番地	車両、清掃道具及び梱包材の提供

津波避難ビル

施設名称・マンション名	所在地	階層	収容人数
1 東築地小学校	東築地町26	4	1,869
2 竜宮荘	竜宮町1-5	7	351
3 東築地荘	東築地町1	14	1,080
4 南木場荘2棟	木場町9-7	11	507
5 南木場荘3棟	木場町9-5	7	282
6 南木場荘4棟	木場町9-5	8	518
7 南木場荘5棟	木場町9-5	7	198
8 南木場荘6棟	木場町9-5	7	324
9 木場東住宅	木場町8-11	11	2,200
10 木場南住宅1棟	木場町9-3	8	140
11 木場南住宅2棟	木場町9-3	8	260
12 木場南住宅3棟	木場町9-3	8	260
13 木場団地1号棟	木場町8-55	11	850
14 木場団地2号棟	木場町8-55	14	1,230
15 木場団地3号棟	木場町8-55	11	850
16 木場団地4号棟	木場町8-55	14	950
17 シャルマンコーポ木場町1棟	木場町9-11	11	432
18 シャルマンコーポ木場町2棟	木場町9-11	8	358
19 木場清里苑	木場町1-11	7	439



地震発生！ 災害時の対応

港区東築地学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、学区の一部地域では震度7、その他全域では震度6強の非常に激しい揺れが想定されます。**まずは自分の身を確実に守る**ため、日頃から**家具の転倒防止**などの耐震対策に努めましょう。

また、津波が他の地区よりも早く到来します。浸水が1.5mから2.0mに及び箇所もあります。**名古屋港への最短津波(30cm)到達時間は96分**と予測されており、遡上はその後始まります。この時間を最大限に使い津波避難ビルへ避難しましょう。

また、液状化現象も起きる可能性も高い地区です。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出して通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

津波発生時の地域での助け合い・避難支援

隣近所など地域での「声かけ」と「避難支援」が大事な命を救います。地震の揺れがおさまったあとは、地域の皆さんで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。また、日頃から一人で避難できない方（高齢者・障がいのある方など）を把握しておきましょう。

情報の入手や判断が難しい方
(例えばこんな方)
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)
優しい言葉でゆっくり声かけ
メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方
(例えばこんな方)
盲杖、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、妊婦さんなど

(対応方法)
看板で手伝う
身近にあるものを利用する

<集合住宅にお住まいの方>

- ① お住いの階ごとに「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「声かけ」を繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、住宅の3階以上へ津波避難する
- ④ 津波到達予測時刻の**30分前までに避難完了**する

<一戸建てにお住まいの方>

- ① 町内の組単位で「声かけ」して無事を確認しあう
- ② 無事が確認できた住民同士で、無事が確認できないお宅へ「声かけ」を繰り返す
- ③ 一人で避難できない方を助けながら、近くの津波避難ビルへ避難する
- ④ 津波到達予測時刻の**30分前までに避難完了**する

同じ階の住民の無事を確認できたら、上階・下階の住民の無事の確認、避難支援を！

- 家族、隣近所への声掛け、安全・安否の確認、情報交換
- 家屋、屋外の様子・被害状況の確認
- 火元を消す・ブレーカーを落とす
- ガス・水道の元栓を閉める
- 扉を開けて出入口の確保
- テレビやラジオ等で正しい情報を収集
- 防災用具の確認、避難準備

火災などの危険がない場合、3階以上にお住まいの方は、一人で避難できない方を助けたら「在宅避難」を！

避難の際は、近隣で助けを求める方がいないか、確認しながら避難しましょう！

●身の安全の確保

- ・倒れてきそうな家具、ガラス戸などから離れる
- ・机の下に隠れて頭を守り、揺れがおさまるまで待つ
- ・安全に消せる場合は火を消す
- ・可能であれば、扉を開けて出口を確保する
- ・屋外にいる場合は、建物など倒壊の危険がある場所からすぐ離れる



提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

災害の危険解消

自宅での滞在が可能か

- → 在宅避難
- × → 指定避難所等へ

地震発生

揺れがおさまった

津波避難ビルを目指して避難開始

津波警報解除
避難勧告解除

津波から安全に避難するための5つのポイント

①揺れが収まったら高台へ。時間がなければ津波避難ビルへ避難！



②隣近所へ声をかけ原則徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方などの避難支援を！



④引き返さない！安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や川沿いには絶対近づかない！

